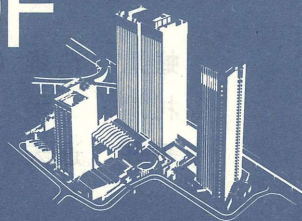


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報 November 20, 1987 No. 56

今年度のターゲット (チャールズ C. ケラー)

ロータリアン--奉仕に結束--平和に献身。

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

○ 本日の予定

昭和62年11月20日 (第58回)

卓 話

『米山奨学会月間 (10月)・ロータリー財団月間 (11月) にちなんで』

村川 優君 / 当クラブ会員 ㈱東京全日空ホテル 専務取締役



◎先週報告

昭和62年11月13日 (第57回)

○卓 話

雪の中の火種 - 上杉鷹山の業績と思想 -

樽松 保孝氏 (東京新宿RC会員)

司 会: 田島 一郎 会 長

♪ロータリーソング: 我等の生業

ソングリーダー: 吉田 用親君

ニコニコBOX 紹介: 武下 朗君

来客紹介: 福田 恭三君

出席状況	会 員	41 名中	出席	24名	欠席	17名
	来 客	9 名				
	(海外 1名 都内 6名 地方 2名)					

□黒川特別代表にご出席頂きました

□世界親睦諮問委員会(WFA) 1987-88 委員 齊藤茂之君

11月11日、霞ヶ関CCにて開催の第1回日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会は運よく好天気恵まれ、25地区より集まった142名のロータリアンがゴルフを通じ親睦を深めました。当クラブよりは岩上君と田中君がご参加下さいました。皆様の暖かいご指導、ご協力に感謝申し上げます。

□ニコニコボックス（11/13 順不同・敬称略）

蟻川 浩雄（東京南RC）ご無沙汰致しましたので
 村川 優 親友樽松保孝<クマツサカ>さんを卓話者にお迎えして嬉しく思います
 平井 逸夫 武田豊、新日鉄会長にお願いし、講演会を開催したところ、250名
 名程の出席者で盛会に終了しましたので
 吉田 用親 宮本さん、素晴らしいアルバムありがとうございました 山田さん
 写真ありがとうございました
 福田 恭三 先週のゴルフ同好会では、斉藤さん、中野さん、いろいろとお世話
 になりました それからブービー賞ありがとうございました

本日の合計 5件 30,000円

それぞれ、多額のご寄附を頂きました 有り難うございます。

○Visitors

海外RC Mr. Coleman Gertler (U.S.A. Wisconsin)
 東京南RC 蟻川 浩雄・井坂 実夫・海老原元彦・松本 栄・立石 信義
 田辺 政美
 神戸東灘RC 藤井 暢二 京都RC 笹尾鮮三郎

<お知らせ>

◎RI日本支局財務室より

本年12月 1日より、ロータリーレートを1ドル 142円（現行 150円）にすると来電がありました

○他クラブ例会臨時変更

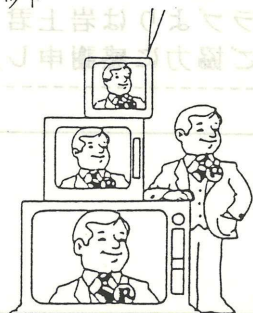
東京日本橋東ロータリークラブ
 11月30日（月） 18:00より 夜間例会

東京築地ロータリークラブ
 11月30日（月）→12月 1日（火）
 東京中央ロータリークラブ認証式伝達式へ
 振り替え

東京中央ロータリークラブ
 12月 3日（木）→12月 1日（火）
 東京中央ロータリークラブ認証式伝達式へ
 振り替え

□RI情報抄録（1987 10-11月号）

ロータリー・ニュース・ネット
 ワークのおかげで私
 はスターになりました。



「全員が生き残るか、1人も生き残らないか」

「人間は助け合わなければ生きていけない」、「どの地域も世界の一部である」、「人類はすべて同胞であるから、あらゆる戦争は内戦である」、という世界観をもつロータリアンから国際奉仕は始まります。核時代の現代ほど、このような世界観が待ち望まれるときはありません。米国の哲学者で科学者のR. バックミンスター・フラーは、次のように述べました：「われわれは、他の人々と協調していく道を見つけなければなりません。全員が生き残るか、1人も生き残らないか、どちらかです」。

--ロータリアン必携
 国際奉仕の巻

江戸時代における名君と謳われた上杉鷹山公の業績と思想を紹介致します。

江戸時代の後期、米沢藩など、日本海沿岸の地の利に恵まれていない藩はたいへん貧困の時代が続きました。特に上杉家というのは、代々禄が減らされてしまっているというようなことがありまして、大藩でありながらたいへん貧乏な藩でございました。膨大な借金を抱えて困窮いたしました幕末に近いころ、上杉鷹山はわずか17歳で藩主を継ぐわけでございますけれども、いろいろ勉強いたしまして、大変な苦勞をした末、藩の建て直しに成功いたします。

鷹山は24年にわたる藩主としての政治の中で、莫大な借金を全部返済して、次の藩主に席を譲るわけですが、隠居したのちも米沢にあって、新藩主のバックアップ、つまり今で言いますと会長職を努めて、72歳の生涯を終るわけでございます。

- 一つ、国家は先祖より子孫に伝えるもので私すべきものではない
- 一つ、人民--「人民」という言葉を使っているんですが--は国家に属したもので私すべきものではない
- 一つ、国家・人民のために君主はあるのである 君主のために国家・人民はあるのではない

この三番目をもう少し簡単に申しますと、君主のために人民があるのではない。人民のために君主があるのである。--という主権存民説をはっきりと謳っているわけでございます。つまり、さらに翻訳いたしますと、社長のために社員があるのではない。社員のために社長があるのだ--と言っているわけでございます。今日の企業の最も進歩的な、トップの経営者の言葉と何ら変わるところがございません。

1700年代の半ばのことでございますから、フランス革命も、ジャン・ジャック・ルソーの思想もまだ誕生してはおりませんでした。日本の一封建領主がなぜこのような思想を持ちえたのでありましょくか。それは当時の米沢藩の貧困の中から鷹山がその解決策のために、藩主として自分の立場、産業立国の元としての藩というものの、さらにその労働力である人民というものの立場をとことん考えて、考え抜いた末につくり出した思想なのでございます。ですから、その思想は、今日の経営者が、いろいろなノウハウを集めて全般的な解決に当たるといふ解決策と何ら変わるところがない、永遠に新鮮な真実を持っていることになろうかと思えます。

(略)

鷹山の思想はロータリーにおける「職業奉仕」の思想と相通じるものがあるかと思えます。本年度、白石ガバナー(258 地区)はガバナー訪問に際しまして、「職業奉仕は心の問題である」というふうに明言されました。誠にその通りではないでしょうか。

つまり「職業奉仕」とは、人の心に働きかけて、地域社会の進歩、発展に貢献し人間社会を豊かにする運動である、この点を強調いたしまして結びにさせていただきます。

世界観

「外国を自分自身の物差しで測ることを主張する旅行者は、物足りなさを見出すのが当然ですが、残念なことに自分たちの文明が規準となるものであり、それに外れるものはすべて間違っているとまで感ずる人たちもいます」。

「優越感は大いに平和を乱すものです。不幸にも、この国の国民にもこれがあるのです。旅行しているときに私たちは、土地の人たちがもっとも高く評価するものに強い関心をもつようにするとともに、はっきりと頼まれないかぎり、彼らのやり方と私たちのやり方を比較したりしないようにしています…私たちは、旅行先の国では、みにくいものは見ないで、美しいものだけ探そうと努めるわけです。このやり方は、これまでたいへんうまくいっていると思います」。

—ポール・パリス

ロータリーへの私の道



あなたと職業奉仕

10月の職業奉仕月間から最大の成果を上げる方法をいくつか紹介します：

1. あなたの職業分類となっている実業または専門職業の実践方針を書き出すこと。
2. クラブまたは学生グループの前で、あなたの職業について話す準備をすること。
3. 地域社会、同業者グループ、学校で四つのテスト推進キャンペーンか展示会を行うこと。

※受付当番の方々は11時50分迄にご出席願います

来週の担当は

受付／安藤

来客紹介／小西

三溝

会計／河原

山本

ニコニコボックス／山下

渡邊

ソングリーダー／吉田

○次週の予定

昭和62年11月27日 (第59回)

『私とバレエとの出会い』

福田 恭三 君／当クラブ会員 牧阿佐美バレエ副団長

会長／田島一郎

副会長／佐藤定宏

幹事／川鍋達朗

会報／斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所：〒107 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201号

電話：03-505-5976 (ファクシミリは同番で切り替え)